

「みんな一生懸命生きてい
るんだ。」との感動を与え
てもらっています。しかし
ながら、「人の生活を支え
る」本物の活動のあり方に
未だ答えが見いだせず試行

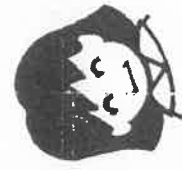
日頃の活動の中で、一人
ひとりの生き様に出会う度
に切羽つまった状況に遭遇
することもしばしばありま
すが、支援をしていく中で

先日、六五歳以上の高齢
者数、高齢化率、百歳以上
の長寿番付等の数字が発表
され話題となっております。
高齢化社会・長寿社会は歡
迎すべきことではあります
が、一方では社会的経済的
に混迷が続いている現在に
おいて、単純には喜べない
不安材料も多くなることは
周知の通りです。

大河の一滴

代表 山口浩志

こころのホットライン



心の病で受診することにした
ためらいをもつていませんか。

保健婦 北原香苗さん

「ストレス」という言葉が、ポピュラーになった今ス
トレス社会を反映して、心の病で悩む人が増えています。
ストレスの内容は男性は「仕事」、女性は「対人関係」が
トップ。性別では女性の方がストレスを多く感じ、心身の
異常を訴える人も女性の方が多くなっています。さらに職
業をもつ人よりも、もたない人の方がストレスが多いとい
う結果が厚生省の調査で報告されています。この過剰なス
トレスが原因で、心の病は私たちの身近な問題の一つとな
っています。自分で心身の異常がわかる状態なら、日常生
活に支障がないかどうかを受診の目安とします。受診は、
家庭か近くの内科医を最初の窓口とし（内科的な病気が原
因となっていないことでもらう方法があります。また、地
域の保健所でも相談に応じています。また、必要なら精
神科医を紹介してもらいます。自分でも相談にのり、受診
は、たまたま家族に、異常を感じた
ら、ためらわずに、受診又は相談
をして下さい。

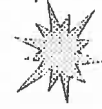


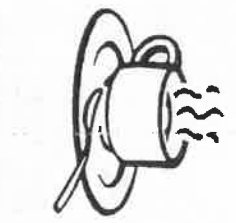
禅のこぼに「水到らざ
ればみぞ成る。」というの
があります。細く流れてい
る水も、やがては大河とな
り海へ注ぎ大海となります。
そして自然界を大きく左右
する力となり、しかもその
錯誤の毎日です。個人個人
の力は限られたものでしか
ありませんが、一人ひとり
の力を結集することで社会
のエネルギーとなることを
信じてやみません。

どりーまあサービスも、
世の中の動きや変動に先見
性と即応性を活かし、柔
軟で清々しい対応をより積
極的にすすめてゆくべく、
サービス活動に一滴一滴を
全力で注いでまいります。
これからも、沢山の方々が
この活動に結集して下さる
ことを更にお願ひしまして
第三号刊行のご挨拶といた
します。

福祉の窓

- ① NPOって何？
日本語では、民間非営利団体と
呼ばれています。ボランティア
活動などの市民の社会参加活動
の重要性が社会的に認識され、
こうした活動の支援・促進を目
的として、NPO法（特定非営
利活動促進法）が作られました。
- ② NPO法制度のねらい
現在全国で市民活動団体といわ
れるものはほぼ8万6000団
体あるといわれます。社会福祉
系の団体はその4割を占めてお
り、いわゆる中核に位置してお
ります。しかし、ほとんどが任
意団体であり、契約や登記を行
おうとしても代表者の個人名で
ないできません。そこで、非
営利活動を行う団体が簡単に法
人になれるようなしくみをつく
ろうというのがねらいです。
- ③ NPOに期待される事
1 公的サービスに先駆けてある
いは対応できない部分を取り
組んでいく。
2 行政のカウンターパートナ
ーとして公的サービスに対して
地域の意見・要望を示してい
く。
3 行政と共同して地域社会をよ
くしていく。
しかしまだまだ問題は山積し
ているようです。





みんなのひろば 楽々

◆F・Mさん 女性
自分も高齢世帯なので元気なうちに協力させてもらえたらあとで自分たちも助けていただけると思っています。‘ありがとう’の言葉が人間として生きがいにつながっています。

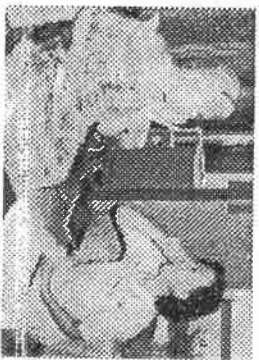
◆喜田信一さん
お役に立てることがあれば時間をおしまわず活動に参加しています。いつでもあなたのそばにいます。

◆吉野恵太さん
‘人と人とを結ぶ心と思いやり’をモットーにボランティアに参加しております。

◆R・Kさん 女性
いろんな人とお会いできることを楽しみにしながら活動しています。

◆Y・Kさん 女性
人のために何か役立つことをすることで自分のこれからの人生に生きがいを見いだしたいと思っています。

◆K・Eさん 女性
ホームヘルパーの資格をとったので実践で活動してみたいと思います。思い勉強のつもりで携わっています。



◆田村さん 女性
人様に喜んでいただける機会を与えていただけて自分も学べることで多くあります。

◆S・Mさん 女性
身の回りの小さなお世話を通して少しずつ信頼関係が生まれることが喜びです。

◆K・Sさん 女性
出会った方々の生き方に感動し、自分も将来あんなふうになれたらいいのになあと思います。

◆R・Kさん 女性
私も近い将来どりーまあサービスのような団体を自分でもちたいと思います、今は勉強のつもりで活動に参加させていただきます。

◆谷 春夫さん
少しでも皆様のお役に立てるようになれるだけ長く続けられるように、共に生活する場を生きていてよかったです。言える環境づくりに励みたいと思っています。

◆梯 四郎さん
自分の息子も障害者で、どりーまあの人にお世話になつていてるので、自分も他の人のできる事があればと思います、時間をとってお世話させていただきます。



新しい協力会員さんから一言いただきました。

◆松本 林さん
人の世をすべての人が淡々と過ごせる来る日を待ち望む。

◆松本 とも子さん
出会った老人と一緒に悩み苦しみ生きていきたいです。



◆中山佳津世さん
自分の人生勉強のつもりで少しでも地域の方たちのためにお役に立てればと思つて活動しています。

◆住本弘明さん
始めたばかりですが、困っている人がいればできるだけ時間をとつて活動を積み重ねていこうと思つています。

◆住本キミエさん
仕事で施設での老人介護をしてきたけれどボランティア活動を通して様々な福祉サービスを利用して在宅で力強く生きておいでる方々に会つて、在宅での生活こそが精神的に充実をもたらすものだとわかりました。

◆M・Mさん 女性
地域の人たちとの1つ1つのふれあいを大切にがんばっていきます。

◆M・Nさん 女性
みんなのボランティア精神があつてこそその活動だと思えます。やがて私もお世話になる立場にあるので今は応援のつもりで参加しています。

◆花野泰三さん
余暇を利用して役立てる事があればと思います。

◆H・Kさん 女性
以前からボランティアに関心があつたし参加することで自分の人生の広がりをもたせたいと思つて参加しました。実際に活動を始めると予想以上にこの活動の大切さを感じておりますが、気負わずにやっていきたいです。

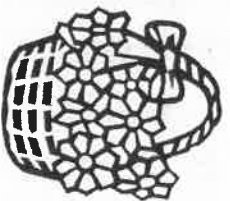
◆K・Sさん 女性
地域の人たちは自分の身内だと思つていつもかかわっています。思いやりやさしさを大切に活動を続けていきたいです。

◆K・Nさん 女性
お年寄りの人たちに会つていろんな話を聞いて自分のためになつたし、そういう出会いをこれからも大切にしていきたいです。

◆櫻川寛さん
若さとフアイトで在宅ボランティアに貢献しようと思つてます。みなさんも頑張りましょう。

いつも協力いただきありがとうございます。

「暑いねえ」が口癖だった夏が過ぎ、虫の音とともにいつの間にか季節は秋です。深まりゆく山々はそのうち色鮮やかな紅葉でその美しさを増すことでしよう。無数に連なる木の葉の一枚一枚は、色も形もどれをとっても同じものはありません。私たちが一人ひとり違う『良さ』をもっています。様々な出会いを通して互いの違いを認め受け入れていく時、そこに人間のすばらしさ・ふれあうことの喜びが広がっています。最後になりましたが、貴重なご寄稿とお礼を申し上げます。



活動実績 (時間数)

	6月	7月	8月	9月	計
介護	103	167.5	99	135.5	505
家事	57	107	131	116	411
移送	46	71.5	53.5	72.5	243.5
計	206	346	283.5	324	1159.5